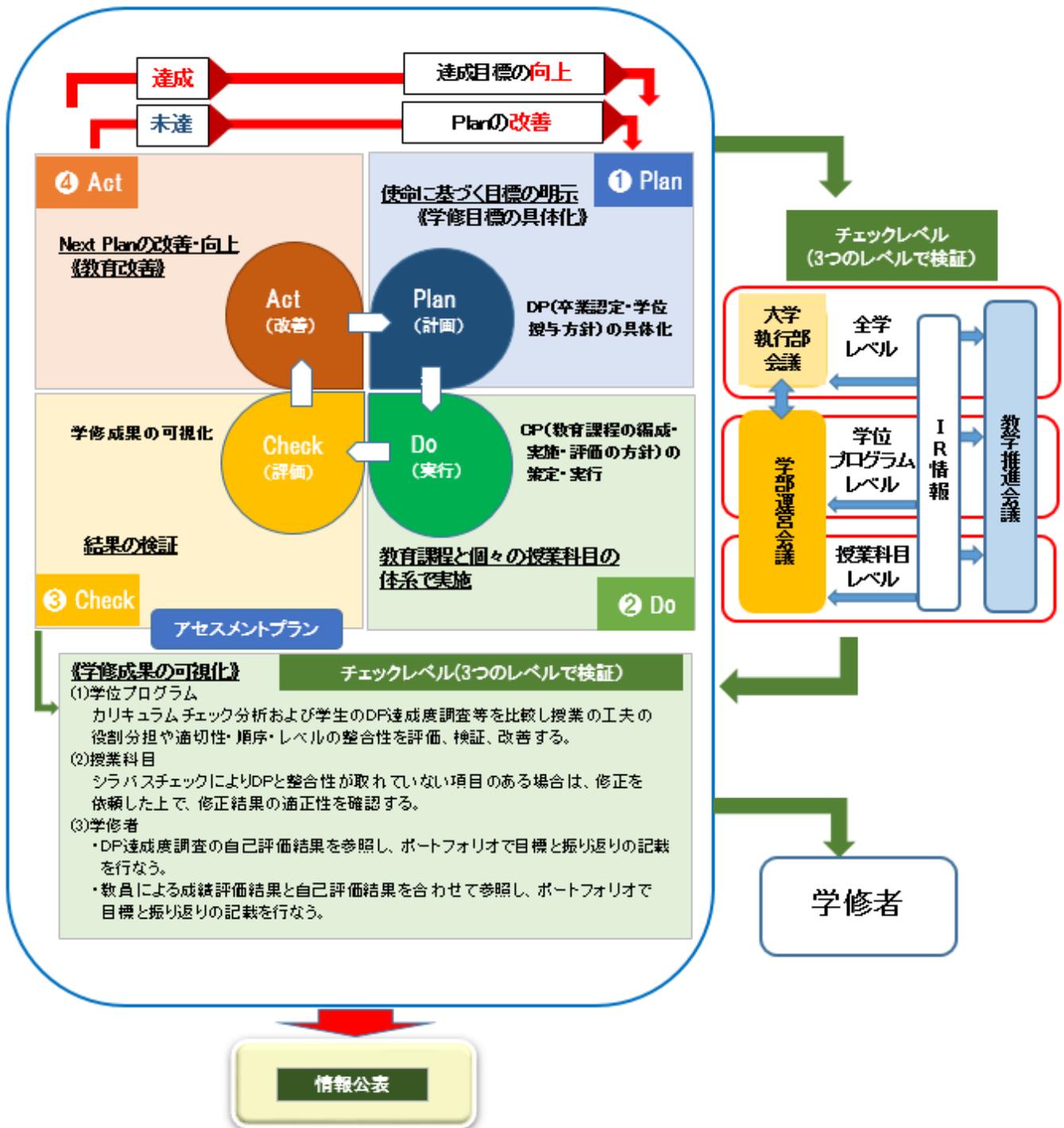


教学マネジメント・サイクル（チェック体制・3つのレベル・自己点検）

■教学マネジメント・サイクルとチェック体制

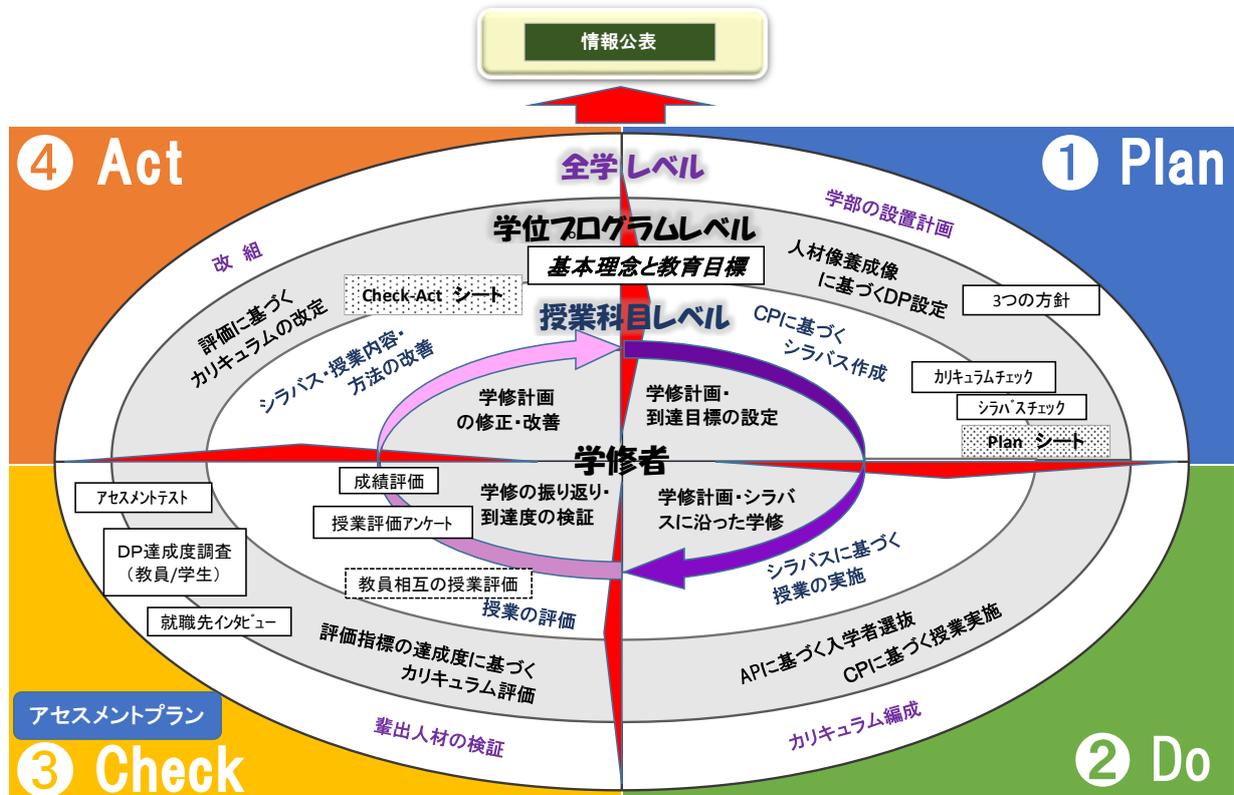
教学マネジメント・サイクルとは、学修者(学生)が卒業までに到達すべき学修成果に達しているのかを、一連の PDCA サイクルを継続して行なう中で、改善・向上につなげ教育活動の見直し等に適切に活用することができる体制のことで、

体制を整えるだけでなく、IR 情報に基づいた内容に応じて3つのレベルで検証を進めます。



■PDCA サイクルと3つのレベル・学修者の関係

学修者(学生)の学修成果は、3つのレベル(全学レベル・学位プログラムレベル・授業科目レベル)において、どの内容により何の検証を行なうのかを解り易く明示し検証する必要があります。
『基本理念と教育目標』では、学位プログラムレベルを中心に授業レベルを含んだ検証を行います。



■自己点検の実施体制

本学の教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、その理念・目標に照らして自らの教育研究活動等の状況について自己点検を行うことが重要です。IR 情報等を利用し、その結果を踏まえ、向上点や改善を要する点などについて自己点検を行います。

